

福祉生活病院常任委員会資料

(平成26年5月21日)

【件名】

中央病院建替整備基本計画の現在の検討状況について（病院局総務課）… 1

病 院 局

中央病院建替整備基本計画の現在の検討状況について

平成26年5月21日

病院局総務課

1 計画素案の概要

(1) 建設場所 現外来棟南側

(2) 規模等

①病床数 518床（一般病床504、感染症病床4、結核病床10）

【現在431床（一般病床417、感染症病床4、結核病床10）】

②新築棟

本館	: 10階建	} 地下なし 免震構造 耐震構造	} 50,000㎡程度
エネルギー棟	: 3階建		
放射線治療棟	: 平屋建		

③外来棟改修 新病院に入院・外来機能を集約し、共通部門として再整備

2階	研修センターほか	} 2,500㎡程度
1階	院内保育所	
1階	老朽化している鳥取療育園の入居を予定	

1,800㎡程度

(3) 計画の理念

東部保健医療圏域を中心とした広域における高度急性期医療拠点の整備

項目	主な内容
高度医療を提供する病院	救急機能・手術室の充実、がん医療の高度化、周産期母子センターの充実等を図る部門配置と施設・設備の整備等
安全で信頼される病院	入退院・地域連携・がん相談機能を一体化した患者支援センターの新設、地域医療機関も利用可能な研修センターの設置等
患者・家族に開かれた病院	ゆとりある病棟（個室、4床室を基本）、プライバシーに配慮した診察室、患者家族用エリアの整備等
災害に強い病院	地震に強い免震構造の採用と埋め込み深さの調整による浸水対策、大規模災害時の患者受入が可能なリハビリ室・講堂の設置等
経営効率に配慮した病院	受診や業務効率に配慮した部門配置等
職員が最大限能力を發揮できる働きやすい病院	研修・育成機能を持つ研修センターの整備、チーム医療の充実を目指したカンファレンス室の整備等

(4) 部門配置計画（特徴）

- ・ 1階に救急外来と救急病棟、放射線検査部門を配置
- ・ 集中治療室を中心に上下階に心臓病センター、脳卒中センター及び周産期母子センターを配置
- ・ 本館屋上にヘリポートを整備し、救急部門と直結する専用エレベータで接続等、救命救急機能を向上
- ・ 外来診療部門は2階（一部は3階）に配置
- ・ 機械室、放射線治療部門は本館の有効活用や放射線の遮蔽を考慮し、別棟で整備
- ・ 病棟は45床を基本。個室3割、重症者用個室7%程度整備

2 建替整備に向けた今後の予定

平成30年秋の新病院開設を目途に、基本・実施設計等に係る予算を6月議会に提案予定



(ライナック棟)

(エネルギー棟)

(新病院)

(現外来棟)

